

2002.11.15

民主

定価 200円(消費税込み)

年間誌誌

3000円(送料込み)

民主党広報委員会

東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988(代表)

民主党愛知県幹事連合会

名古屋市東区泉1-12-34

セントラルアベニュー1223 9F

電話 052-951-7881



The Democratic Party of Japan

民主党

号外
あいち

民主党のいまがわかる月刊紙

[民主党自治体議員フォーラム・愛知](#) / [環境・福祉・人権でなお課題も](#) / [神田知事二期目へ](#) / [神田知事に代表質問](#) / [幹事会報告](#) / [編集後記](#)

民主党自治体議員フォーラム・愛知

= 結成総会 =

この間、結成に向けて準備を進めてきた、党愛知県連の自治体議員フォーラムが10月14日(月)11:00～名鉄ニューグランドホテルで開催された。このフォーラムは民主党籍を有する自治体議員と他党籍を持たない自治体議員が会員となって21世紀型の地方分権の構築と自治体議会のネットワーク化を図り、相互間の活性化を目的としたもの。当日は約80名の自治体議員の参加のもと、運営要綱・役員が承認された。…下図



松山 登
フォーラム委員長

また、政策調査会がまとめた「基本となる愛知の政策目標」を基調に活動方針が提案され、来年6月を目途に活動をスタートさせることを確認した。



熱心に聞入る自治体議員

民主党自治体議員フォーラム・愛知、役員

委員長＝松山 登(県議団長)

副委員長＝もろくま修身(名古屋市議団長)、
本多修一郎(小牧市議会議員)

事務局長＝早川良行(名古屋市議団幹事長)

副事務局長＝原田信夫(県議会議員)

運営委員＝6区・本多修一郎(副委員長兼務)、
7区・藤井篤保(瀬戸市議会議員)

8区・成田勝之(常滑市議会議員)、
9区・西脇保廣(尾西市議会議員)
10区・小林弘子(江南市議会議員)、
11区・中村 晋(豊田市議会議員)
12区・加藤繁行(岡崎市議会議員)、
13区・早川輝好(知立市議会議員)
14区・鈴木基夫(総支部幹事長)、
15区・草野年彦(豊橋市議会議員)

続いて午後から明日の午前にかけて、東海ブロック(静岡・岐阜・三重・愛知)のネットワークづくりを目指して「東海ブロック自治体議員セミナー」が開催された。参加者150名を前にホスト役を務める愛知県連の波形昌洋幹事長より歓迎の挨拶が行われた。

セミナーの内容は、全部で5講座、当日は第1講座＝党の自治体改革政策について・講師＝福山哲郎(参議院議員)、第2講座＝地域活性化をめざして・講師＝中沢孝夫(姫路工業大学環境人間学部教授)、第3講座＝分権自治の確立と市町村合併、講師＝丸山康人(四日市大学地域政策研究所教授)の3講座が行われた。

翌日15日(火)には選挙実践の講座として、第4講座＝統一地方選挙必勝に向けて何をなすべきか「公職選挙法の実際」、講師＝平川憲之(党本部法規組織管理部長)、第5講座＝宣伝物のポイント「効果的な宣伝とは」、講師＝原 公作((株)名鉄エージェンシー取締役企画本部長)が行われ、参加者の好評を得た。

* 総支部で資料等、ご希望の方は県連までご一報ください。

[▲
top](#)

環境・福祉・人権でなお課題も

日進東部丘陵を開発から守れ

天白川水源の森が危ない

万博会場の南側、日進市の東部に残された広大な森が、開発の危機にさらされている。瀬戸市の粘土採掘業者が採掘・開発を計画しているのは65ヘクタール(採掘権が設定されたのは34ヘクタール)に及ぶ丘陵地の山林で、貴重な動植物の生息地になっているばかりか、名古屋市東南部を流れる天白川の水源地でもあることから、開発の中止、縮小を求める声が高まっている。

民主クラブの波形昌洋議員は、9月県議会本会議で初めてこの問題をとりあげ、丘陵地を緑地と



▲粘土採掘開発計画で危機に立つ日進市東部の自然(中日新聞提供)

して残す方策を愛知県に迫った。具体的には(1) 一帯を緑地保全地区や都市計画緑地に指定(2)今後予想される「保安林解除」の申請への対応(3)天白川治水上の観点から開発計画への行政指導など。

保安林解除申請には慎重に対応——県答弁

建設部長は都市計画緑地について前向きな答弁。環境部、農林水産部も治水上重要な森林の保全を重視する意向で、開発に反対する地元日進市の意向を尊重して慎重に対応していくと答弁した。

この問題については日進市民ほか天白川流域住民などから17,000名にのぼる署名が国に提出され、工業採掘権設定に反対してきた。今後は土地所有者が開発業者に売却・貸与しないよう、働きかけることが焦点となる。

特養ホーム待ち 8 千人

介護保険がスタートして2年半を経過し、来年度からの制度見直し作業も控えて、さまざまな問題点が浮かび上がっている。

民主クラブの富田昭雄議員の質問に答えて県は、県内の特別養護老人ホーム132施設に対する入所申し込みは、1年以内を希望する人だけで7740人に上ることを明らかにした。県の計画では平成15年度末までに1,722人分の増床が予定されているが、それでも待機者はとても解消できそうにない。

必要度に応じた入所選考へ

国はこうした現状に対し、(1)先着順でなく必要度に応じた入所選考とすること(2)入所指針を公開し、第三者を交えた委員会による公正な入所選考とすること、などの改善方針を示している。

また複雑で多様な、介護保険関係の施設やサービス事業者の利用情報、空き状況がわからないという声に答えて、インターネット(<http://www.wam.go.jp> ワムネット)による情報提供の充実に、県としても取り組む。

住基ネット拒否が3千人

8月5日から稼働し始めた「住民基本台帳ネットワーク」の運用実態の一端が県議会で始めて明らかに。水野豊明議員の質問に答えて県は、番号通知の「未届け」が11万件、番号付与を拒否し、異議申し立てをしている市民が2,399人、番号の変更を希望した人が2,873人いることを明らかにした。個人情報データの管理については、漏洩、ハッキングなどの非常時には県のサーバーを切断する措置も。また、条例制定によるネットの利用業務拡大は考えていないと答弁した。

個人情報保護へ国に意見書

この問題について民主党は、国民総背番号制につながる恐れがあるほか、前提となる個人情報保護法が未整備であることから、ネットワーク稼働の延期を求めていた。全国では東京の国分寺市、杉並区、中野区、横浜市など計430万人を抱える自治体が未参加となっており、今後、番号付与に対する住民からの不服審査請求が続発する動きとなっている。

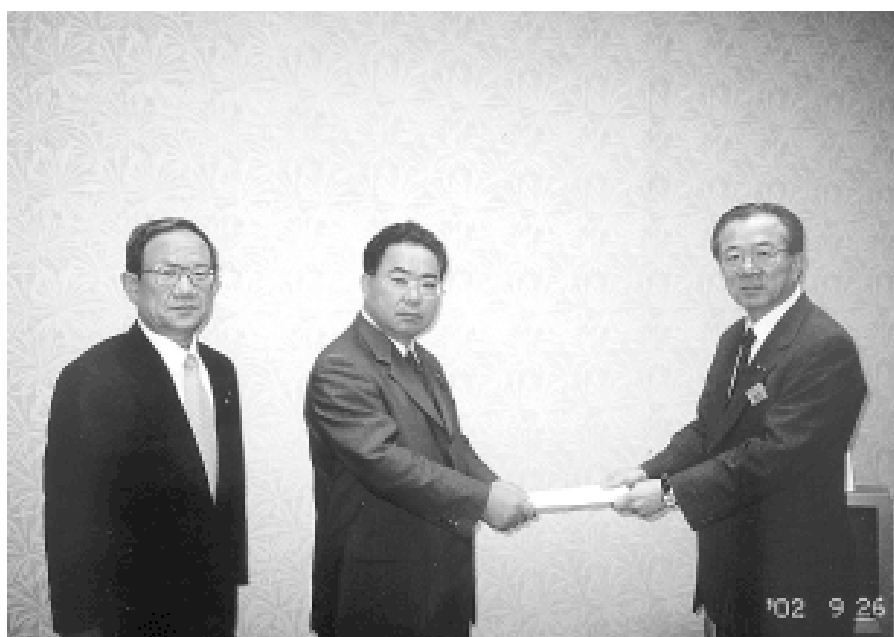
県議会は民主党の提案により、個人情報保護のための十分な対策を早急に講じるよう求めた意見書を国に送付した。



[top](#)

神田知事二期目へ 民主が注文と支援

来年2月に予定されている愛知県知事選挙に向けた方針を議論してきた民主党は、神田知事の3年半に及ぶ実績を評価し、県政ビジョンやリーダーシップに関する今後の方針の一致を確認したうえで、神田県政2期目への支援を決定しました。民主党が提示した愛知の地域政策目標は「愛・いのち・地球」と題し、万博・空港の成功のうえに環境、福祉、分権に重点を置いた愛知像です。知事は、9月24日県議会代表質問で片桐民主クラブ幹事長の質問に答え、正式に2期目出馬を表明しました。



神田知事（右）に、二期目への要望を渡す
民主クラブ・松山団長（中央）と片桐幹事長（左）



[top](#)

神田知事に代表質問

〈知事2期目への決意〉

Q 知事2期目を目指す決意と、今後目指す基本方向は？

知事 幅広い皆様の力強い励ましのもと、次の知事選挙に出馬することを決意した。歴史的変革期にあって時代の潮流と県民ニーズを的確に見極め、しっかりとしたビジョンをもって県政を進める。

「世界と直結し、地球規模の活動の舞台となる愛知」「地球社会の一員として県民一人一人が生き生きと暮らし、活躍できる愛知」がそのイメージであり、重視するテーマとして(1)活気あふれる国際交流圏大都市づくり(2)広域的な視点からの行政展開(3)環境先進県作り(4)教育の新生(5)暮らしの安心、安全の確保(6)簡素で効率的な行政——などに全力で取り組みたい。

Q この3年半をどう評価するか？

知事 未曾有の財政危機の中で補助金の削減など県民に負担もお願いせざるを得なかったが、行政の合理化、効率化にも必死で取り組んできた。新空港や国際博の準備を着実に進める一方、失業や自然災害に対し、県民の安心を保障できるような条件整備も精一杯努力してきた。

〈道州制も視野に〉

Q 知事は2期目へのビジョンの中で「道州制も視野に入れた広域的視野での行政展開」を柱に上げているが、道州制をどう考えるか？

知事 市町村合併が進むと、都道府県はより広域的な視点からの連携調整が必要になってくる。道州制は、地域が主体性を持って効率的で実効性ある広域行政を進める枠組みとして、最も検討に値する制度であり、国の議論も見ながら前向きに研究したい。広域連携では、すでに岐阜、愛知、三重の三県と名古屋市のトップで、すでに合意し、防災や環境、ITなどの分野で施策協力を進めている。

Q 2005年国際博について、外国の参加招請はどこまで進んでいるか？アメリカの参加見通しは？

知事 私自身も数カ国を歴訪、要請してきたところ。現在の参加表明は46カ国、5国際機関でまずまず順調だ。来年3月25日の申し込み期限までに目標の100カ国以上を目指す。アメリカの参加はきわめて重要。アメリカの企業や州などからは参加の意向もあり、これらを認知してもらおうという形での米政府に働きかけていく。

Q この秋から会場建設も本格化しているが、博覧会の内容、企画について主要なものはどうなっているか？

知事 博覧会協会の企画事業がやはり中心となる。「グローバルハウス」「水と光と風のスペクタクル広場」と呼ばれているもので、具体化が相当進んでおり、順次発表され、大いに話題を呼び期待が膨らむと願っている。

〈新産業起こしと雇用創出〉

Q 新規産業の振興と雇用促進は車の両輪。どう取り組むか？

知事 7月に、県中小企業支援センター内に「創業支援プラザ」を開設し、コミュニティビジネスを含めた創業支援を強めている。「商店街地域新事業発掘事業」も本年度から始めた。雇用対策の面からは「緊急地域雇用創出特別交付金事業」の本年度から始める分として、これまでより弾力的運用を図り、市町村との密接な連携のもと、(失業者吸収の)実効を高めていく。

〈地震対策と食の安全〉

Q 東海地震の対策強化地域指定に伴う県の防災計画見直しはどう進めているのか？

知事 「警戒宣言」発令時の対応などを重点に県の地域防災計画の全面的見直しを行い、10月末の県防災会議に図る予定。地震対策の基本となる条例の検討など「あいち地震対策アクションプラン」で、積極的な対策の全体像を近く県民にお示しする。

Q 食の安全確保について、県の取り組みは？

知事 最近の一連の事件により、消費者の食の安全に対する信頼が大きく揺らいでいる。このため「愛知県 食の安全・安心推進本部」をスタートとさせた。食品検査を強化するとともに、ホームページなどを通じ県民への総合的な情報提供を行っている。



幹事会報告 (10/12第12回)

□ 民主党愛知県連第4回定期大会

日 時／12月1日(日)13:00～17:00

会 場／名古屋通信ビル・ホール、名古屋市中区千代田2-15-18(鶴舞交差点北西角UFJ銀行隣)

2002年度活動報告、2003年活動方針案、会計報告、予算案、規約改正案、その他。

□ 統一地方選挙候補者の公認・推薦について

県議会議員、推薦・古俣泰浩(こまた やすひろ)新人・42歳・定数5

安城市議会議員、推薦・石上 誠(いしがみ まこと)新人・42歳・定数30

阿久比町長、推薦・川元嘉伸(かわもと よしのぶ)新人・63歳

□ 議員の入党

太田之朗(おおた しろう)豊田市議会議員・現3期・55歳

□ 部落解放共闘第21回全国交流集会・地方共闘連絡会第19回総会

日 時／11月13日(水)～14日(火)

場 所／アビタン会議室、名古屋メルパルク

□ 人権週間記念集会(ロマに対する差別)

日 時／11月27日(水)18:30～

会 場／名古屋市中区役所ホール、名古屋市中区栄4-1-8、栄サンシティビルB1

講 師／ジャック・デルフェルド氏(ドイツ・スインティ・ロマ中央委員会副委員長)

参加費／無料・・・国・県・名古屋市の議員には整理チケットを配布。ご希望の方は県連までご一報ください。

● 人権擁護法案の抜本修正を求める愛知県集会

10月30日(水)15:45～参議院議員会館で開催された。当日の中央集会(日比谷野音)にあわせて行われたもので愛知から約100名が参加した。集会終了後、参加者は法案の修正を求めて国会議員への要請行動を行った。

■ 政調タウンミーティング報告



第10区総支部(佐藤観樹・衆議院議員)

11月9日(土)19:00より一宮市民会館大会議室にて「まちづくり」をテーマに開催。講師に松本 龍(衆議院議員)を向かえ、縦割り行政の改革により「人づくり」を基本とした地域住民参加型の街づくりを提言。100名を超える参加者があった。

◆第13区総支部(島さとし・衆議院議員)

日 時／12月6日(金)18:30～

会 場／ホテルグランドティアラ安城高砂殿

テーマ／新しい民主党

講 師／岡田克也(民主党幹事長代理)

◆第11区総支部(伊藤英成・衆議院議員)

日 時／12月21日(土)10:00～12:00

会 場／豊田勤労福祉会館

テーマ／地域主権型システムの構築に向けて(豊田・東西加茂地域の街づくりについて)

講 師／調整中

石井紘基議員の死を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

10月25日午前10時36分、世田谷区の自宅前で暴漢に襲われ、民主党・石井紘基衆議院議員が死亡しました。石井議員がめざした不正追及と理想社会の実現に向かって、民主党は一層団結し闘うことを誓い、ご家族の方々に謹んで哀悼の意を表明します。


[top](#)

編集後記

さて、10月27日に行われた衆参統一補選において示された厳しい結果を、我々民主党は真摯に受け止めなければなりません。これからも当分、民主党に対して厳しい風が吹くこととなりますが、民意がどこにあるかを敏感に察知し将来への施策と現実の諸問題をどうするのか、国民に市民に明示しない限り、政権を取ることは夢のまた夢になってしまいます。この逆風のなかこそ民主党の真価が問われるとともに、全党一丸となるべきだと思いますが、いかがでしょうか？

広報委員長 原 邦芳
(県議会議員・名古屋市中川区選出)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp


[top](#)

